

民主青年新聞

●ホームページ www.dylj.or.jp ●Eメール minsin@dylj.or.jp

見どころ

変わる・変える災害避難所 命と人権を守る対策を(2、3面)

「陰キャ」「陽キャ」ってなに?? (6、7面)

科学的社会主義の創始者 カール・マルクスの生涯と理論(上) (10、11面)

ウクライナ侵略やめろ

▶デモ行進する人たち(2月27日、ベルリン、桑野白馬撮影、しんぶん赤旗提供) ▼民青宮崎県委員会は街頭で平和のメッセージを集めた(2月27日) (左)、民青福岡県委員会は緊急のスタンディング宣伝を行った(2月25日) (右)



◀在日ウクライナ人権のデモ行進。「戦争やめろ」と街中に声を響かせた(5日、渋谷)



▲民青中央委員会と民青東京都委員会共催の緊急宣伝を行った(2月28日、池袋)

2022年2月24日、日本民主青年同盟の西川龍平中央委員長は、ロシアのウクライナ侵略について以下の談話を発表しました。

2月24日、ロシアはウクライナに侵攻を開始しました。ウクライナの主権と領土を侵し、国連憲章と国際法を踏みにじる紛れもない侵略行為です。最も強い言葉で非難します。

プーチン大統領は今回の軍事行動について、ウクライナ東部地域の「要請」を受けたもので、国連憲章第51条の「集団的自衛」だとしています。しかし、ロシアが一方向的に「独立」を認めた地域・集団との集団的自衛など国際法上ありえない暴論です。

また、プーチン大統領は、ウクライナの「脱軍事化、脱ナチス化」を進めると述べ、東部にとどまらず、ウクライナ全土でロシア軍を展開させています。ウクライナを独立国・主権国家として認めない道理のない態度です。

また、プーチン大統領は、この侵略行為にあたって、欧米の批判や制裁の動きに対抗する姿勢を見せています。核兵器による威嚇は、今日の世界において決して許されるものではありません。

ウクライナの青年・国民の命が奪われ、暮らしが破壊されています。世界・日本中の青年・国民が怒りと不安を募らせています。ロシアはただちに軍事行動を止め撤退させるべきです。国際社会がロシアのウクライナ侵略反対の一点で団結し侵略を止めさせることを呼びかけます。

【緊急声明】ロシアのウクライナ侵略を断固糾弾し、軍事作戦の中止を求める緊急街頭宣伝へ。役員先頭に打って出よう!

2022年2月25日 民青同盟中央常任委員会

「最悪の選択」「不安で手につかない」「ウクライナがどうなるかとても心配」——ロシアのウクライナ侵略について、多くの青年・国民が批判と憂慮を強めています。

ロシアの暴挙に対して、ウクライナ侵略反対の一点で団結し、侵略を止めさせるために、幅広い世論と運動で包囲しましょう。

いま各地で、SNSでの抗議やスタンディングなどに立ち上がる青年や同盟員が広がりつつあります。党と相談し、民青同盟として役員先頭に大いに街頭宣伝に打って出て、青年と対話し、ウクライナ侵略反対の世論を広げること呼びかけます。

以上
現在もロシア軍による攻撃が続く中、連日、ロシア市民を含め世界各国から「戦争やめろ」と抗議の声が上がっています。日、皆さん!と呼びかけ本国内でもロシア政府によるウクライナへの侵略戦争に反対しよう、抗議スタディンク、デモ行進、反戦ライブなど、さまざまな行動が広がっています。戦前から一貫して侵略戦争に反対し、「大国による」覇権主義とたたかいつづけてきた民青がいま青年の前に出て出るとき——こうしたア人の女性(31)は、毎日、家族や友だちと連絡を取り続けているといいますが、女性は「経済制裁の影響で、ロシアでは物の値段が上がっている。インテル製品も買えない。自動車関連の仕事もできない」と話しています。「ロシアの人も生活が大変になっていく」と話します。「ロシア国内でのプロパガンダがひどい。政府は戦争という言葉を使わないし、メディアも『平和のため』にたかっている」と言う。「私も友だちも戦争が大嫌いです。ロシアの人は誰も軍隊に行きたくないと思っ

2月24日、ロシアのプーチン政権がウクライナへの侵略を開始し、民間人を含む多数の人々が犠牲となっています。ロシアによる侵略によってウクライナの主権、市民の命と生活が踏みにじられると同時に、国連憲章に基づく世界の平和の秩序が根底から脅かされています。3月4日にはロシア軍の攻撃によって欧州最大規模の原子力発電所で火災が発生。すでに鎮火しましたが、依然としてロシア軍の占拠が続いており、世界全体に緊張が走っています。(今井千尋記者)
市民を含め世界各国から「戦争やめろ」と抗議の声が上がっています。日、皆さん!と呼びかけ本国内でもロシア政府によるウクライナへの侵略戦争に反対しよう、抗議スタディンク、デモ行進、反戦ライブなど、さまざまな行動が広がっています。戦前から一貫して侵略戦争に反対し、「大国による」覇権主義とたたかいつづけてきた民青がいま青年の前に出て出るとき——こうしたア人の女性(31)は、毎日、家族や友だちと連絡を取り続けているといいますが、女性は「経済制裁の影響で、ロシアでは物の値段が上がっている。インテル製品も買えない。自動車関連の仕事もできない」と話しています。「ロシアの人も生活が大変になっていく」と話します。「ロシア国内でのプロパガンダがひどい。政府は戦争という言葉を使わないし、メディアも『平和のため』にたかっている」と言う。「私も友だちも戦争が大嫌いです。ロシアの人は誰も軍隊に行きたくないと思っ

以上
2日、国連総会(193カ国)は、ウクライナ侵略を国連憲章違反だと断定し、ロシア軍の「即時、完全、無条件撤退」をロシアに求める非難決議を、141カ国の賛成で採択しました。軍事侵略を許さない国際社会の強い意志が示され、ロシアは孤立を深めています。